バイオマスタウン構想分析DB

【リンク】恵那市バイオマスタウン構想

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積	
公衣回		公表回	公表年月日	郁 坦桁乐石	巾町村名	(人)	(km²)	
33	2009.3.31			岐阜県	恵那市	57,274	504.19	
構想の要約		下水汚泥堆肥を利用したバイオマスファームでの景観・資源作物生産と観光活性化を図るとともに、家畜排泄物の堆肥化による一般農地の地力改善、食品系廃棄物の循環利用による恵那ブランド商品の高付加価値化及び森林資源を原料とした木質ペレット・チップ・炭の生産と燃料利用に取り組む。特に、下水汚泥堆肥を景観、資源作物等を栽培するバイオマスファームへの利用は、観光資源に変換させることにより地域の活性化やバイオマスエネルギーの利用等の促進を図り、「人・地域・自然が調和した交流都市」の実現を目指す。						
構想に盛り込まれた事業		①し尿・下水汚泥等の利活用事業の推進 ②バイオマスファームの整備・推進 ③木質ペレット等の利活用に向けた体制整備・需要先の確保 ④堆肥利用等促進のための枠組みづくり						
バイオマス利活用目標		添付別紙参照						
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照						

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス	ζ	未利用バイオマス	資源作物			
家畜排せつ物	0	稲わら・もみがらなど	0	資源作物		
農業系廃棄物(廃菌床など)	0	野菜等非食部				
食品廃棄物	0	間伐材·林地残材	0			
廃食用油 〇		果樹剪定枝	0			
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材	0	その他(流木 矢作ダム他)				
建設発生木材						
街路樹·公園·家庭剪定枝、刈草						
古紙·廃棄紙						
下水汚泥など	0					
その他()						

利用するバイオマス変換技術					
マテリアル利用のための変換技術	Ī	エネルギー利用のための変換技術			
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	0	バイオガス化(メタン発酵)			
飼料化	0	直接燃焼	0		
バイオマスプラスチック製造		ガス化			
その他(敷料)	0	炭化	0		
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	0		
		バイオディーゼル燃料化	0		
		バイオエタノール化			
		その他(RDF)			

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況					
記入年月日	記事				

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

	バイオマス	賦存量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	変換·処理方法	仕向量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	利用·販売	利用率 (%)	
	麦 乳用牛(ふん)	8,475	506		8,475	506	6 7 堆肥·農地還元 4	100	
	畜 肉用牛(ふん)	3,613	216		3,613	216		100	
	排 豚(ふん・尿)	101,177	6,037	堆肥化	101,177	6,037		100	
	泄 採卵鶏(ふん)	13,139	784		13,139	784		100	
	物 ブロイラー(ふん)	14,235	849		14,235	849		100	
	下水汚泥(脱水汚泥)	2,863	275	1/4 DM //-	2,863	275	堆肥・バイオマスファー	100	
	浄化槽汚泥	11,361 kL	1,091	堆肥化	11,361 kL	1,091	ムへ還元	100	
	し尿(生)	9,486 kL	911	1 [9,486 kL	911		100	
	農集排汚泥	1,207 m ³	116	1	1,207 m ³	116		100	
廃		2,328	103	RDF・炭化、また	2,328	103	セメント会社・製鉄所 - へ、または堆肥・バイオ・ マスファームへ還元	100	
棄物	生ごみ等	34	1	は堆肥化	34	1		100	
系バイ	食品 窓天かす	1,000	44	堆肥化、または飼料化、マテリアル利用	1,000	44	堆肥、または飼料、マテ リアル利用	100	
マス	残 変天かす以外	640	28	業者が収集・処理	498	22	各種再生利用	78	
	栗の鬼皮 (皮むき工程で発生する 渋皮・果実を含む)	206	59	堆肥化、またはマ テリアル利用	206	59	堆肥、またはマテリアル 利用	100	
	廃食油(一般)	2,700 L	2	BDF化	2,700 L	2	マイクロバス・ごみ収集 車輌等に利用	100	
	製材所廃材(バーク)	1,200	267	堆肥化、燃料利用	1,200	267	堆肥、または燃料	100	
	製材所廃材(おがくず)	1,134	253	敷料、燃料利用等	1,134	253	Bh 44 400 441 501	100	
	製材所廃材(端材)	2,340	521	激科、滁科利用等	2,340	521	敷料、燃料等	100	
	古紙	2,627	1,064	資源化	2,627	1,064	製紙原料	100	
	小計、炭素換算利用率		13,127			13,121		100	
	間伐材·林地残材				5,760	1,253	良質な間伐材として有 効に利用	20	
未	(伐採木・被害木を含む)	28,800	6,266	炭化、またはチッ ブ化、ペレット化 等	500	109	木炭、または木質ペレット、木質チップ	2	
利	果樹剪定枝	606	135	堆肥化、または	606	135	堆肥、または木質ペレッ	100	
用	公園·街路剪定枝	30	7	チップ化、ペレット		30	7	ト、木質チップ	100
15	刈草	330	27	化等	330	27	堆肥	100	
マス彩	稲わら	9,917	2,839	飼料化、または敷 料利用等	992	284	飼料、敷料等	10	
	籾殻	2,355	674	くん炭利用、また は副資材利用等	1,178	337	くん炭、堆肥化副資材 等	50	
	流木(矢作ダムほか)	660 m ³	92		660 m ³	92	炭、水質浄化、堆肥等	100	
	小計、炭素換算利用率		10,040		_	2,244		22	
A 61	、全体炭素換算利用率	$\overline{}$	23,167			15.365		66	

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



本図の制作; 構想策定委員会 山口岳志委員(絵描工房サン・アート)

- 方策 ① 下水汚泥堆肥を利用したバイオマスファームでの景観・資源作物生産と観光活性化
- 方策 ② 家畜排泄物の堆肥化による一般農地の地力改善
- 方策 ③ 食品系廃棄物の循環利用による恵那ブランド商品の高付加価値化
- 方策 ④ 森林資源を原料とした木質ペレット・チップ・炭の生産と燃料利用

実現した事業(その1)

事業の名称		
事業者名		
事業所名		
住所(施設の所在	E地)	
利用するバイオマ	? ス	
利用する変換技術	桁	
		プレット等)参照
	(事業形態、事業 ト、ランニングコ	業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコス 1スト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)
事業の概要		
F. W. W. S.		
	1	